

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3	1	選択
担当教員			
梅林 厚子			
添付ファイル			

科目の概要	<p>こころと人間関係の理解には様々な方法や見方がありますが、心理カウンセリングの視点からこころの理解を深めることが重要視されています。本授業においては、カウンセリングの意義や歴史的展開、基本的な知識や態度等、カウンセリングに関する専門的知見や技術を習得するよう授業を進めていきます。その際、主として保育士による育児相談の相談過程を解説し、各過程における傾聴技法の実習を組み入れることによって、保育・教育現場でのカウンセリングのあり方について理解を深めるようにします。また、ロールプレイやグループワークなどの演習を多面的に組み入れ、カウンセリングの体験的理解を図るように努めていきます。</p>
授業の内容	<p>第1回 オリエンテーション（授業の進め方、成績評価の説明等）、カウンセリングについて カウンセリングの意義と内容、機能などについて解説する。 シラバスを事前に読み、授業の概要を捉えておいてください。</p> <p>第2回 カウンセリングの理論（来談者中心療法）について 代表的なカウンセリング理論である来談者中心療法やカウンセリング過程について解説する。 2年次に受講した「教育相談」でも来談者中心療法について学んでいるので、再度復習してから本時に臨んでほしいです。</p> <p>第3回 カウンセリングの基本的な態度について 積極的傾聴の基本的な考え方（無条件の肯定的配慮、共感的理解など）を解説し、実習を取り入れながら授業を進める。 2年次に受講した「教育相談」でも積極的傾聴の基本的な考え方について、初歩的事項は学んでいるので、再度復習してから本時に臨んでほしいです。</p> <p>第4回 積極的傾聴の基本的な技法について（1） あいづち、繰り返し、内容の明確化、感情の明確化などを解説し、実習を取り入れながら授業を進める。 2年次に受講した「教育相談」でも積極的傾聴の基本的な技法について、初歩的事項は学んでいるので、再度復習してから本時に臨んでほしいです。</p> <p>第5回 積極的傾聴の基本的な技法について（2） 「わかってほしいこと」の伝え返しを解説し、実習を取り入れながら授業を進める。 第3回の「カウンセリングの基本的な態度」や第4回で学んだ「積極的傾聴の基本的な技法」の内容が、本時の内容と関連が深いので、再度復習をしてから本時に取り組んでほしいです。</p> <p>第6回 カウンセリングの事例検討 カウンセリング事例を検討しながら、積極的傾聴の基本的な態度や技法を深める。 第3回、第4回、第5回の内容を応用するので、しっかり復習を積んでおいてほしいです。</p> <p>第7回 カウンセリングの実際場面について 実際のカウンセリング場面をDVDで視聴し、カウンセリングの認識を深める。 積極的傾聴の基本的な考え方や技法がDVDにまとめられているので、再度復習に取り組んでおいてほしいです。</p> <p>第8回 相談（指導）の流れについて 相談過程全般を通しての留意点を解説する。 カウンセリングについての基本的事項やその応用的な内容を取り上げるのでこれまでの復習を行ってほしいです。</p> <p>第9回 相談過程の「情報収集や質問の仕方」について 「閉じられた質問」、「開かれた質問」などを解説し、実習を取り入れながら授業を進める。 主として、前時（第8回）の相談過程における「承」の場面を取り上げるので、前時の復習をして授業に臨んでほしいです。</p> <p>第10回 相談過程の「解決志向の問題把握」について（1） 解決志向アプローチを解説し、実習を取り入れながら授業を進める。 主として、第8回の相談過程における「転」の場面を取り上げるので、その復習をして授業に臨んでほしいです。</p> <p>第11回 相談過程の「解決志向の問題把握」について（2） 「リソース探し」、「例外さがし」などのグループワークを通して、「解決志向の問題把握」の理解を深める。 解決志向アプローチの発展課題として取り組むので、前時（第10回）の復習をしっかり行ってほしいです。</p> <p>第12回 積極的傾聴のロールプレイ 積極的傾聴の基本的な態度や技法を用いて、演習する。 これまで学んだことの総合的な演習を行うので、総復習を行い、本時に臨んでほしいです。</p> <p>第13回 ロールプレイ（保育士・教師などと保護者&lt;1&gt;） これまで学んだことの総合的な演習を行う。 これまでの総復習を行い、本時に臨んでほしいです。</p> <p>第14回 ロールプレイ（保育士・教師などと保護者&lt;2&gt;） これまで学んだことの総合的な演習を行う。 前時の応用場面を取り上げるので、復習に取り組んでほしいです。</p> <p>第15回 振り返りとまとめ</p>

	これまでの学びを振り返ることができるよう、資料やワークシートなどをまとめ、授業に臨んでほしいです。
学習到達目標	1) カウンセリングについての基本的な理論を理解し、積極的傾聴の基本的な考え方や相談の流れについて説明することができる。 2) 積極的傾聴の基本的な技能や相談過程に必要な基礎的技法を使うことができる。 3) 保育・教育領域で役立つカウンセリングを実践していく力を身につける。
授業の方法	〔授業形態〕 ・演習形式 〔アクティブラーニングの取り入れ状況〕 ・第3回、第4回、第5回では、積極的傾聴の基本的な態度や技法を取り入れた実習を行う。 ・第6回では、カウンセリング事例を検討する際、個別やグループでのワークに取り組む。 ・第7回では、カウンセリング場面をDVDで視聴した後、グループワークに取り組む。 ・第9回では、「閉じられた質問」「開かれた質問」などを用いて、情報収集や質問の仕方についての実習を行う。 ・第10回では、解決志向アプローチについての実習を行う。 ・第11回では、「解決志向の問題把握」を、「リソース探し」や「例外探し」などのグループワークを通して理解を深める。 ・第12回、第13回、第14回では、カウンセリング（積極的傾聴）のロールプレイを実施する。
成績評価の方法	レポート課題（50%）、授業の中で実施した課題（30%）、受講態度（20%）を総合的に評価します。
教科書・テキスト	適宜、資料のプリントを配布します。
参考書	武田 建 「人間関係を良くするカウンセリング」 2011 誠信書房 古宮 昇 「プロカウンセラーが教えるはじめての傾聴術」 2014 ナツメ社
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	日常生活の中でも人の悩みを聴いたり、相談を受けたりする機会があると思われませんが、その際、本授業で習得した積極的傾聴の態度や技法を大切に、それを活かしていくように心がけることが望ましいです。
履修上の留意事項	「教育相談」で学習した内容も含まれますので、「教育相談」の単位を取得していることが望ましいです。
オフィスアワー	月・水・木・金曜日の昼休み
担当教員への連絡方法	4号館605号室 a-umebayashi@osaka-aoyama.ac.jp
その他	特になし